

4月24日

初めての子育てを応援します！



小さなお子さんと保護者の交流の場として町が開設している「子育て支援センター」の新事業として、0歳から10カ月の親子と妊婦さんを対象とした「ベビーズ広場」がスタートしました。初日は早速4組の親子が参加し「今何カ月ですか。」などと声をかけあい交流されていました。

4月25日

タイ政府視察団が町を視察



タイ王国政府関係者や教育関係者で構成する視察団13名が当町を訪問し、酪農法人ドリームヒル（小椋幸男社長）やナイタイ高原牧場、上士幌中学校を視察しました。

このうち、酪農業の現場を学ぶために訪れたドリームヒルでは同法人のロータリーパーラーを見学し、「牛乳はどこに出荷するのですか。」「今搾乳されている牛は何歳ですか。」「通訳を介してしきりに質問されていました。」

5月1日

ひがし大雪自然館がオープン



ぬかびら源泉郷で完成した「ひがし大雪自然館」の開館式が開催されました。ひがし大雪自然館は、東大雪地域を中心とした自然や歴史、リアルタイムな地域情報を発信する拠点で、環境省と上士幌町が連携して整備しました。

この日の開館式では伊藤哲夫・環境省自然環境局長と竹中町長が主催を代表して挨拶し、竹中町長は「この施設がやがて、地域の教育や観光の分野で大きな役割を果たしてくれれば。」と話しました。地域住民の悲願であった施設のオープンを受けて、ぬかびら源泉郷の蟹谷吉弘さんは「これからの施設なので、皆で知恵を絞って有効活用してゆきたいですね。」と話されていました。

5月7日

アイス工房ドリームがオープン

アイス工房ドリーム（上士幌町字居辺東7線27ノ小椋祐子店長）が、酪農法人ドリームヒルの敷地内でオープンしました。

店内では同牧場の牛乳を使ったジェラートアイスの

5月の大型連休にあわせ、ひがし大雪自然ガイドセンターのアーチ橋ツアーがスタートしました。

人気のタウシュベツ川橋梁は、完全な形で見られるのが最後になるかも知れないことから、ツアー参加者のみなさんは熱心にその姿を写真に収めていました。



4・5月の
まちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ☉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。



軽にお越しいただき、くつろいでもらえれば。」と話されています。

5月9日

ご当地生キャラメルが発売



北海道内の20のゆるキャラカードが同封された「ご当地生キャラメル」がこのほど発売されました。キャラメルは道内のお土産店で販売されており、20のゆるキャラの中には「ほろんちゃん」も参加しています。

生キャラメル10粒とカード1枚が入っていますので、お見かけの際はぜひお買い求めください。町内では、ナイタイ高原牧場レストハウスやひがし大雪自然館などで販売する予定です。

5月10日

3児童が全道大会へ！



全道大会への出場が決定した上士幌卓球少年団の大野隆貴君(上小学6年)、大野隆斗君(上小学2年)と、上士幌トラップリンククラブの竹内愛詩さん(上小学3年)が、馬場教育長を表敬訪問しました。



大会はそれぞれ5月18日から江別市で行われ、北海道卓球選手権大会に出場する大野隆貴君、隆斗君兄弟は「ベスト8を目指したい。」「1位になりたい。」、北海道ジュニアアトランポリン競技選手権大会に出場する竹内愛詩さんは「いい成績が残せるように頑張りたい。」と抱負を語り、馬場教育長は「大会を楽しんできて。」とエールを送りました。

※5月18日に行われた北海道卓球選手権大会において、大野兄弟は共に一回戦を突破する健闘を見せてくれました。このうち、バンビ男子個人戦(2年生以下)出場の隆斗君はベスト8進出のため全国大会への切符を手にし、7月26日から神戸市で開かれる全日本卓球選手権大会に出場することが決定しました。

消防の新人



茂木 香純(21歳)
出身地：上士幌町
趣味：スポーツ

6年ぶりに上士幌町に戻ってきました。みなさんに安心して過ごしていただけるよう努力していきますので、よろしくお願いします！



南雲 享陸(22歳)
出身地：更別村
趣味：映画鑑賞

町民のみなさんに安全と平和を提供できるように消防職員として貢献できるよう務めていきたいと思っています。まだ、上士幌町の土地勘はあまりありませんが覚えていきますのでよろしくお願いします！



地産地消料理レシピ

農林商工の連携による特産品の開発・商品化の支援の一環として、2月4日に料理研究家・馬場香織氏を講師に招いて地産地消料理試食会を開催しました。

その際に試食した料理を不定期でご紹介します。

材料 (8人前)

- 豚肉ブロック…800g
- とけるタイプのチーズ…1袋
- 卵…2個 ●パン粉
- パルメザンチーズ…大さじ2
- ピクルス…8本
- レモン…1/2個 ●クレソン…適宜
- 塩、こしょう、オリーブオイル

作り方

1. 豚モモ肉の薄切りをラップではさみ薄くのばし、塩、こしょうをする。
2. さいたチーズ、ピクルスをのせ、半分に折り曲げる。
3. 卵をよく溶き、パルメザンチーズをよくまぜておく。
4. 肉にパン粉をつけ、卵液にくぐらせ、再度パン粉をしっかりとつける。
5. 包丁の背で格子模様をつけ、フライパンで1cm位の油で揚げ焼きする。

ミラノ風カツレツ



▲豚肉、チーズ、卵などに地産産の食材を使ってください。

町では、農林商工連携による新商品の開発に対して支援を行なっています。
詳しくは商工観光課商工担当(内線241)にご相談ください。

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲初めてクラスを持った1B担任の加藤真先生

4月21日(日)~23日(火)、ネイパル足寄で宿泊研修が行われた。

今回の宿泊研修では、去年の長縄跳びの記録を超えた合計記録A組293回、B組180回を出した。

1Bの浅野敦也さんは、宿研で一番印象に残ったのは『偏愛マップ』(※注)だと言う。「偏愛マップを最初に行なった事で皆の緊張がほぐれ、宿研全体が良いものになった。また道場先生の生徒指導ガイダンスは話が面白く、とてもためになった。宿研を通して皆が仲良くなれたので、宿研はとても大切な行事だと思った。」と楽しかった思い出を話してくれた。

1年B組担任の加藤真先生は「長縄跳び、校歌どちらも良く出来ていた。声をだして皆を引っ張っている生徒がいて、よい集団だった。宿泊研修を通して皆仲良く、元気でよいクラスになったと思う。」と笑顔で語ってくれた。

この宿研で作上げた団結力を活かし、これからの学校生活を過ごして欲しい。

(※注)偏愛マップ…自分が偏愛するものを紙に書いてお互いに交換し、会話をするコミュニケーション手法

4月21日(日)~23日(火)
宿研でみんな仲良く!

文責 1年 長野天旺・古市和摩

町民文芸

川柳

短歌

うんどう会知らせる花火ドンとなる
 さをり織りやっつと二色がおぼえたよ
 たこやきよりも豚どんボクは好き
 図書館で過ごす時間が好きになり
 まだ寒い桜はまだか北の春
 晴れた日に空き缶拾うボランテイヤ
 線路跡いまはトロッコ走る森
 年金の暮らしに消費税というパンチ
 いい出合あって旅行が盛り上がる
 汚染なき北の大地に生きる幸

子や孫と食卓囲むマンションの窓に見える藻岩山近し
 わが家より歩いて一分新築の妹夫婦の家出来上る
 施設より帰る夕べの道吾が影の長くうつりて一人かなしき
 五月十日久びさ晴れて庭ながむ桜の芽ぶく見ゆ北の春

白坂桜 小米丹 米高小 鈴木
 石田 池森 後森 木松 木
 いさ子 花由 真昭 博誠 義
 馨 絵 希子 弓次 樹也 美豊

高石
 木川
 慶裕
 子子

平成25年4月末現在の人口

男 2,463人(先月比+7)
 女 2,580人(先月比+6)
 計 5,043人(先月比+13)
 世帯数 2,353世帯(先月比+16)

寄付

▶NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会は、4月18日にアーチ橋の保全資金として金35,548円を寄付されました。

一ふるさと納税一

▶各・金1万円…北川清さん(大阪府)、栗原恵さん(神奈川県)、今村周さん(神奈川県)、岩城敏之さん(兵庫県)、栗原良知さん(大阪府)、鄭守さん(京都府)、元木廉さん(埼玉県)、岡田浩さん(東京都)、鈴木智晴さん(愛知県)、井土恭兵さん(愛知県)、岩田輝明さん(愛知県)、越後幸夫さん(札幌市)、田中伸和さん(東京都)、深町昌治さん(福岡県)、鈴木智大さん(東京都)、堀秀行さん(栃木県)、本田貴宏さん(東京都)、山本勝代さん(大阪府)、豊島愛子さん(東京都)、荒田大さん(広島県)、石井崇樹さん(東京都)



紙アーチ橋ツアーではガイドの河田さんのお話が聞けるのも楽しみの一つ。タウシュベツは糠平湖に沈んで以来、通常の10倍のスピードで劣化が進んでいることから、実質的には600年前の建築物に等しいとのことでした。(あとどれだけ持つでしょうか・・・Y)

紙ひがし大雪自然館にさっそく娘を連れて行ってきました。はくせいやジオラマが気に入ったようで、しばらく見入っていました。紙旧博物館時代に連れて行ったときは、まだ2歳。そのときは、あらゆる昆虫標本が怖かったようでしたが、今では、蝶の標本は大丈夫になりました。(まだ、クワガタやカブトムシが怖いらしいです・・・K)

上土幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

広報 **がみしほろ** 7月号は6月25日(火)発行予定